

エネルギー環境教育のひろば

北海道エネルギー環境教育研究委員会
広報部
2009.01.26発行
第15号



小中高で実施!

中学の二授業はエネ研主催(理科/技術・家庭科)
中2理科「天気とその変化」

授業実践交流会

11月4日、札幌市立北栄中学校で山田浩之先生による中学校2年生の理科の公開授業が行われた。20名ほどの参加者を迎えて、「天気の変化」という気象の単元で「エネルギー環境教育」を取り入れた授業を実践した。「新エネルギーマップ」を活用し、風力発電、太陽光発電、雪氷熱といった自然エネルギーの効率のよい取り出し方などを学んだ。「気象の単元はエネルギー環境教育とつながりが深いことを改めて認識した」などの感想もあり、一定の成果がみられた。特に異校種の教師が集まって授業づくりが

小学5年生 電流の働き

小学校授業実践交流会5年「電流の働き」指導者 岩野晃先生(美香保小学校) 11月14日、美香保小学校で開催した北海道小学校理科研究会「秋季授業研究会」を本委員会の授業交流会として公開していただいた。現行の指導要領では6年生で扱っている「電流の働き」が、

でき、研究の広がりや深まりができた。また、技術・家庭科などの連携が必要などという声もあり今後の課題ともなった。



エネルギー変換に関する技術

11月20日に札幌市立陵北中学校で榎並典昭先生による中学3年生の技術・家庭科「エネルギー

つ強くなるのでは」と考える授業であった。条件を考えながら

導線の巻数を変え、電エネルギーの働き方について理解を深めることができた。



変換」の授業が行われた。今回の授業は平成21年度から学習指導要領の移行措置が始まるのに伴い、試行的に新の内容も含めた授業とした。特に学習課題として「放射線を制御できるか」とし、ランタン用のマントルピースの放射線を測定器を使って距離、遮蔽物による違いを明らかにし、放射線は遮蔽によって制御できることを学んだ。また、この目に見えない放射線を霧箱を使って生徒に見せることによ

り、生徒の驚きのまなざしと感嘆の声とともに放射線の存在も明らかになった。授業後の話し合いでもテレビのリモコンなどに使われている目に見えない「赤外線」などの話題と重なることもっと身近なものになるのではないかなという話題が出ていた。

【高等学校授業交流について】左記先生方が理科で授業公開

▽10月29日 藻岩高 理科総合1年 細井久美子教諭 ▽11月13日 開成高 地学2年 一岡祐生教諭 ▽11月14日 藻岩高 生物1年 S P P 1年代表者 ▽11月19日 清田高 物理2年 鶴岡森昭教諭

お知らせ 平成20年度全体研修会(旧シンポジウム)

例年2月に実施しているシンポジウムは本年度より「全体研修会」と名称を改め、開催します。内容は各部会報告、第2回全道大会(函館)報告、第3回全道大会(札幌)の予定と講演会を行う。◇日時 平成21年2月21日(土) 12時30分～17時 ◇場所 ホテルライフォート札幌(札幌市中央区南9条西1丁目)◇講演会 『地震に対する「原子力発電所と地域リスク」』・東大教授 岡本孝司氏

北海道エネルギー環境教育研究委員会
連絡先
北海道エナジートーク21内
札幌市中央区北1条西5丁目
北1条三井ビル2F
TEL-011(251)9710
FAX-011(251)3974
